

主体的な学びを実現させる授業の創造  
～算数科の学習過程における手立ての工夫を通して～

学びの土台

- ①レディネステストからの「誤答分析」
- ②「誤答分析」からの「教え直し」
- ③授業ごとの適用題からの「教え直し」

学力上の課題の分析

カリキュラム・マネジメント

課題を克服するために効果的な教科等を関連させる。

【導入】 課題把握・つかむ

- ①学習課題とてどう  
興味・関心をもつ  
既習事項との関連(相違点に気付く)  
学習の見直しをもつ
- ②めあてを明らかに

既習事項  
の揭示

パフォー  
マンス課  
題

【展開1】 自力解決

- ①既習事項の想起
- ②解き方を分かりやすく表現  
絵・図・式・表・言葉などを用いて
- ③複数の考えをもつ
- ④考え方のよさを見つける  
はやい・簡単・正確
- ⑤他の場面でも使おうとする

多様な解き方

説明の方法

【展開2】 協働解決

- ①友達の考えを理解する  
考えの根拠を探りながら聴く
- ②自分の考えを発表する  
考えの過程を分かりやすく伝える
- ③共通点・違い等を話し合う
- ④よりよい考えをみつけている

ペアトーク

グループ  
学習

【終末】 まとめ・振り返り

- ①評価問題で確かめ納得
- ②分かったことをまとめる  
算数用語などのキーワードを適切に用いて自分の言葉で
- ③深まったこと、既習が使えたこと
- ④さらに学習したいこと、疑問に思ったこと
- ⑤自身の変容(できるようになったこと、成長したこと)

板書  
ノート

主体的な学びの持続

学力調査上の課題の克服